

【令和2年3月5日に舟入高メール連絡網で配信しました。】

舟入高校の生徒・保護者のみなさま

舟入高校が舟入高校であり続けるために、お便りします。

みなさんの声が聞こえない学び舎。みなさんの飛び跳ねる姿のないグラウンド。
教員生活初めての感覚をここ数日感じています。

本日、久しぶりに教室に生徒の姿がありました。受検生です。本日、選抜(Ⅱ)を行い、多くのマスコミの取材がありました。新聞社は、中国新聞、読売新聞、朝日新聞の3社。テレビ局は、NHK、RCC、ホームテレビ、広島テレビの4社です。テレビはテレビ放映以外にWebでも配信されています。多くの取材があるということは、本校が注目されていることでもあります。この注目に応える舟入高校であり続けたいものです。

現在、1,2年生は課題に取り組む中、3年生は中期・後期試験に向けてのラストスパート、舟入高校の後輩を目指している受検生は明日も選抜試験です。

みなさんは、本分を忘れず、前向きに一日一日を過ごしてください。今後、学校のホームページを通じて、校長先生からのメッセージなどを届けます。

この困難を、舟入高校であり続けるため、舟入高校が試されている良い機会と捉え、毎日を規則正しく過ごし、乗り越えましょう。

舟入高校(教頭)